

臼杵市 施策評価シート

(令和5年度)

評価 担当課	課名 学校教育課
-----------	-------------

コード	V-12-24	施策名	基礎学力の定着と向上
まちづくりの 目標	磨き輝き続ける市民がつながり、臼杵っこが育つまち(学び)		施策の方針 ふるさとを担うたくましい人材を育てる
5年後の めざす姿	幼保小中が一体となって、子どもの自立につなげる15歳の臼杵市の子どもの姿『学ぶ力』『誠実さ』『たくましさ』を身につけた臼杵大好き“臼杵っこ”を目指す教育を推進していきます。 学校では、管理職のリーダーシップのもとで芯の通った学校組織による学校運営を目指します。コミュニティ・スクールの推進により、家庭と地域と学校が一体となった教育活動を推進します。		
施策の課題	ICTを活用した授業等を効果的・効率的に実施するための環境整備と並行し、教員のさらなる活用能力の向上が求められています。		

<施策の進捗を測るものさし(指標) ~ 第2次臼杵市総合計画 後期基本計画>

新規 指標	指標名	指標の説明	指標数値の推移							
			単位	R1	R2	R3	R4	R5	R6	
	臼杵市学力定着状況調査で全教科で 偏差値50を超えた学校の割合	臼杵市基礎基本テスト	目標	%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
			実績	%	100.0	100.0	100.0	90.9	81.8	
			達成率	%	100.0%	100.0%	90.9%	81.8%		
	平日に1日1時間以上、家庭などで学 習する小学6年生の割合	全国学力・学習状況調査	目標	%	70.0	70.0	75.0	75.0	80.0	
			実績	%	61.2	調査未実施	66.0	58.7	52.4	
			達成率	%	-	94.3%	78.3%	69.9%		
	平日に1日2時間以上、家庭などで学 習する中学3年生の割合	全国学力・学習状況調査	目標	%	40.0	40.0	40.0	45.0	45.0	
			実績	%	35.7	調査未実施	36.8	40.8	35.2	
			達成率	%	-	92.0%	102.0%	78.2%		
	学校で食に関する授業を受けた児 童・生徒の割合	栄養教諭・栄養士等により、年1 回以上食育授業を受けた市内小 中学校の児童生徒の割合	目標	%	70.0	70.0	75.0	80.0	85.0	
			実績	%	68.5	72.2	83.7	93.0	100.0	
			達成率	%	103.1%	119.6%	124.0%	125.0%		
			目標	%						
			実績	%						
			達成率	%						
			目標	%						
			実績	%						
			達成率	%						
			目標	%						
			実績	%						
			達成率	%						
指標の 進捗状況	概ね順調	指標の分析	R5年度は、コロナ5類移行等により全学級(全児童・生徒)対象に食育授業100%実施が達成できました。							
		指標達成に向け 今後の流れ	タブレット端末、デジタルドリルを活用した家庭学習の取り組みを推進します。							

<市民意識調査結果 R6実施結果>

領域名	必要度	満足度	
向上領域	2.65	2.02	
向上領域: 今後も現状のサービス水準の維持向上が望まれる領域 強化領域: 満足度を高めるよう事業の強化が望まれる領域 見直し領域: サービス水準が適正となっているか、見直しが必要な領域 検討領域: 施策や事業のあり方や内容の検討が必要な領域		浸透度 82.30%	
過去の 調査結果 (領域)	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	向上領域	強化領域	強化領域

<施策を構成する主な事務事業一覧表>

事務事業名	事業内容	担当課	事業費(単位:千円) ※人件費含まない		評価シート作成の有無	課長評価			重点事項
			R4年度実績	R5年度実績		進捗状況	今後の方針	施策への貢献度	
1	市教育研究協議会補助金	学校教育課	1,497	1,975	無	概ね順調	向上	中	
2	ICT活用教育推進事業	学校教育課	30,498	28,757	有	概ね順調	強化	大	
3	小中一体教育推進事業	学校教育課	33	45	無	概ね順調	向上	大	
4	学力向上対策事業費	学校教育課	8,766	12,666	有	概ね順調	向上	大	
5	学校給食運営事業	学校教育課	224,910	239,166	有	概ね順調	向上	中	
6									
7									
8									
9									
10									
合計			265,704	282,609	※事務事業評価シートは対象となる要件を満たした事業のみ作成しています。				

<次年度以降の課題>

ICT教育では、令和6年度に小中学校全校への電子黒板整備を完了予定であり、タブレット端末等との相互活用で更なる学習効果の向上をめざした、より活用・使いこなしていく取り組みが求められます。学校給食事業では、野菜と並行し、地元の安全な米のさらなる活用に取り組みます。

施策の評価（今後の施策の方向性）

評価の選択肢 ○ 向上 … 現状の通り維持向上する ○ 強化… 現状より強化を図る
 ○ 見直し … 現状を見直し適正化を図る ○ 検討… 現状の抜本的な検討を行う

<担当課評価>…評価者 担当所属長

担当課評価	評価の理由と次年度以降の取組
向上	ICT教育は大学入試改革や高校での必須科目化でも判るとおり、これからの変化の激しい社会を生き抜く子どもたちに必須のスキルを育むために不可欠です。学校給食は、心身の成長や生涯を健康で生きる支えとして基本となるものであり、食育指導を含めたよりよい学校給食の提供は非常に重要です。